

年

- (ウ)「深める」段階のあり方の研究をする。
 - ・お互いの学びが深められる集団討議のあり方を研究する。
- (エ)自力解決型のノート指導のあり方について研究する。
 - ・自力解決型のノートづくりの徹底
 - ・疑問の目をもたせるために吹き出しの利用
 - ・自分の考えや参考になる友達の考えの記録
 - ・板書とノートの一体化.....学習の振り返りができるノート

度

- 個に応じた指導方法や効果的な学習形態を工夫する。
- (ア)効果的な少人数指導・チームティーチング指導のあり方を研究する。
 - 習熟度別学習 ... レディネステスト実施後，自分の課題を見つけ，コースに分かれる。
(基本は学年習熟度別学習)

課題別学習
均等別学習

- 個や発達段階に応じた計算力の定着を図る工夫を行う。
- (ア)3分間チャレンジを実施する。(授業始めの5分間)
 - ・学習単元によって内容を工夫する。
 - (イ)3分間チャレンジの振り返りをし，次への意欲をもたせる。

- 補充的な学習や発展的な学習など個に応じた学習内容を工夫する。
- (ア)単元のまとめの段階で補充的な学習を実施する。
 - (イ)補充的な学習や発展的な学習を実施する時間としてトライの時間を設定し，充実を図る。
 - (ウ)補充的な学習，発展的な学習の内容の工夫開発をしていく。

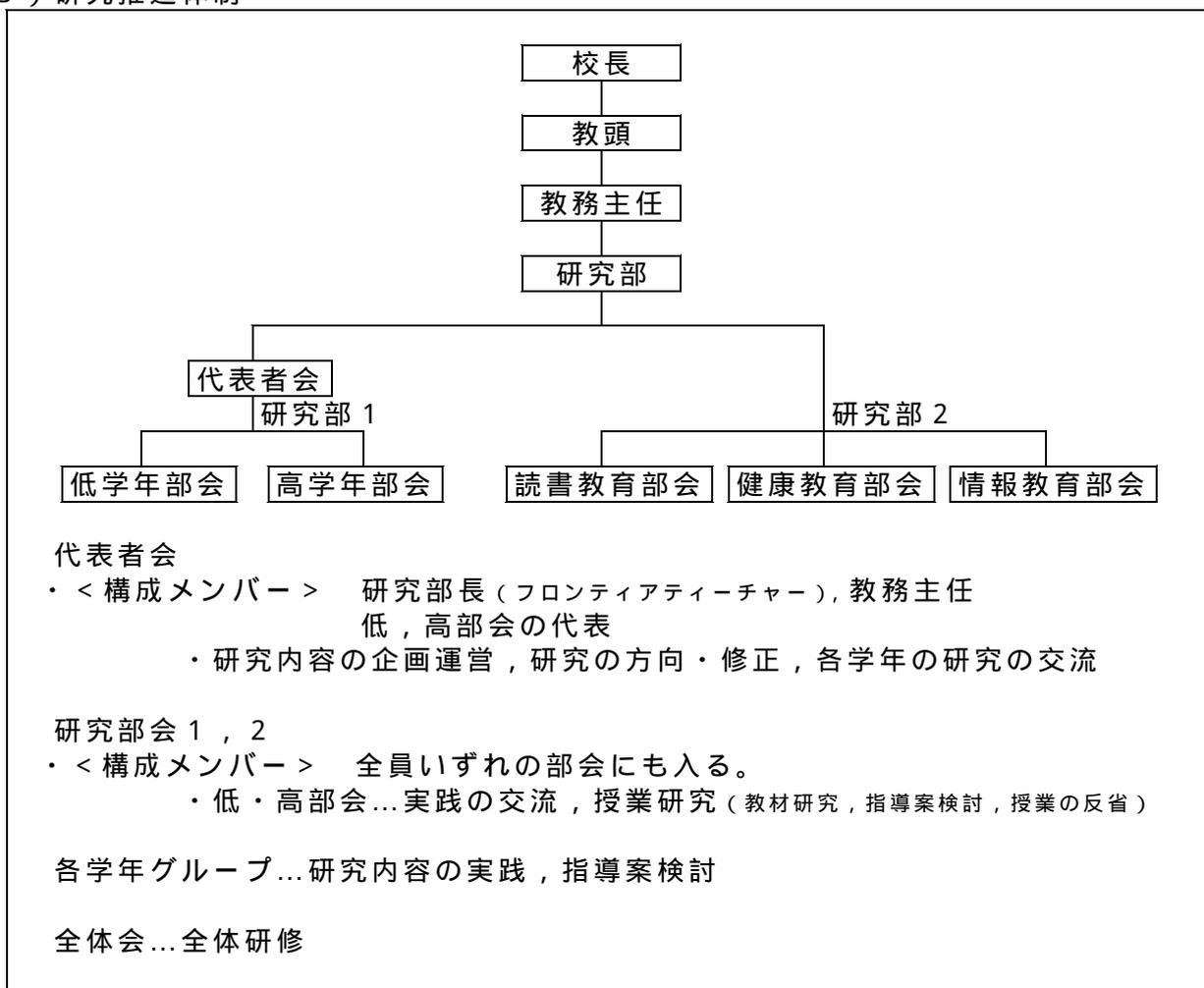
- 評価のあり方と評価を生かした指導を研究する。
- (ア)評価規準を見直し，評価規準をもとに基準を明確にして補助簿を作成し，評価していく。
 - (イ)評価することで学習の習熟度や新たな課題などをつかんでいく。
 - (ウ)自己評価の時間を確保する。

(2) 検証方法

検証授業の実施... 1学期全員検証授業，10月教育研究会
「基礎・基本」定着状況調査と分析(県)
学力実態調査(国語・算数)と分析(学校)
2月上旬 1年から6年対象
児童へのアンケート調査の実施
学期始め，学期末，年度末，単元末
...学習意欲，理解度，数学的な考え方など
単元末テストの実施
市販テストと自作テスト
保護者へのアンケート調査の実施
2月下旬 学力定着，指導法等について
絶対評価による達成度評価の実施

<p>平成16年度</p>	<p>テーマ</p> <p style="text-align: center;">豊かな学力の育成 ～ 個に応じた指導と評価の研究（算数科）～</p> <p>研究の見通し 算数科の授業を進めるにあたって，次の4点を重視し，知の総合化・実践を図っていけば，子どもたち一人一人に『豊かな学力』を育成できるであろう。</p> <p style="text-align: center;">基礎・基本の定着と充実を図る。 学び方，問題解決力を育てる。 体験的な学習を積極的に取り入れる。 自分の生活を見つめ実践する力を育てる。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 研究の内容</p> <p style="padding-left: 2em;">個に応じた問題解決的な学習の研究実践</p> <p style="padding-left: 2em;">(ア) 学びの力をつけるための各段階における支援のあり方を工夫する。 (イ) 「深める」段階での集団討議のあり方の研究をする。 (ウ) 自力解決型のノート指導のあり方について研究する。</p> <p style="padding-left: 2em;">個に応じた習熟度別による少人数指導の工夫</p> <p style="padding-left: 2em;">(ア) 各コースに応じた学習内容の工夫 (イ) 効果的な支援のあり方</p> <p style="padding-left: 2em;">学習単元や個人差に応じた計算チャレンジの工夫</p> <p style="padding-left: 2em;">補充学習・発展学習の内容の工夫開発，トライの時間の充実</p> <p style="padding-left: 2em;">指導に生きる評価の研究</p> <p style="padding-left: 2em;">(ア) 単元ごとのつまずきの分析 (イ) 補充簿等による見取りの工夫 (ウ) 評価規準，Aの視点の見直し (エ) 児童による自己評価の時間の設定</p> <p>(2) 検証方法</p> <p style="padding-left: 2em;">検証授業の実施... 1学期全員検証授業，10月教育研究会 単元末テストの実施と分析 市販テストと自作テスト つまずきの分析 「基礎・基本」定着状況調査と分析（県）6月5年 学力実態調査（国語・算数）と分析（学校）2月上旬 1～6年対象 児童へのアンケート調査の実施 学期始め，学期末，年度末...学習意欲，理解度，数学的な考え方など 保護者へのアンケート調査の実施 2月下旬 学力定着，指導法等について 絶対評価による達成度評価の実施</p>
---------------	---

(3) 研究推進体制



平成 1 5 年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

(1) 問題解決的な学習の展開により, 多様な考え方で解決力や学習に対する意欲やねばり強さがついてきた。

「めあて・課題をもって自分なりのやり方で学習できた」(図 1) と肯定的な評価をしている児童は 4 % 増え, 9 1 % になっており, 「とても」と積極的に肯定している児童は 6 % 増え, 4 9 % になっている。

段階的な型を追うパターン的な学習から, 児童自ら学習を進める流れにしたことで, 少しずつ自分なりの方法で課題を解決する力がついてきており, 解決の見通しをもち自力解決するよさを実感して, 多様な考え方で解決することの大切さを学んでいる。

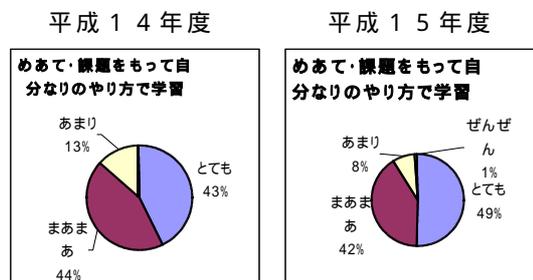


図 1 アンケート結果 (全児童対象)

「ねばり強く最後まで取り組む」(図2)と肯定的な評価をしている児童は6%増え、96%になっており、「とても」と積極的に肯定している児童は18%増え、64%になっている。

課題を自力解決する楽しさを味わうことで、学習に対しての関心・意欲が高まり、学習にねばり強く取り組む児童がかなり増加していると考ええる。

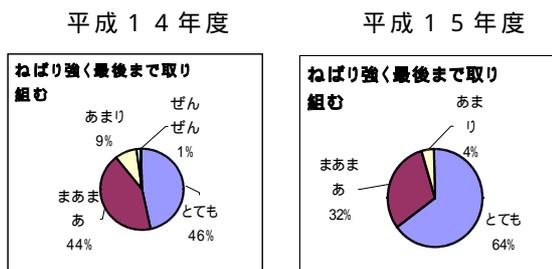


図2 アンケート結果(全児童対象)

全学年、各単元テストの「数学的な考え方」の結果をまとめると(図3)、5年では全国平均に届かなかったもののその他の学年ではかなりの定着度であった。

6年の結果で見ると(図4)、「平均」の単元では全国平均に届いていないが、その他の単元では全国平均以上の得点になっている。これは、問題解決的な学習を進め、多様な考え方で自力解決している結果であり、解決力がついてきていると考えられる。

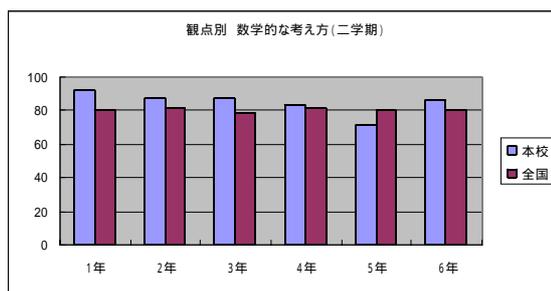


図3 観点別単元テスト結果(学年別)

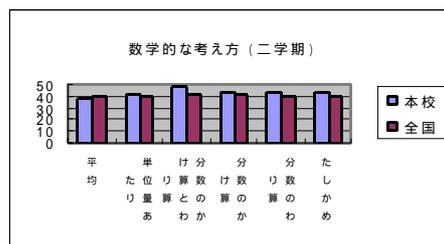
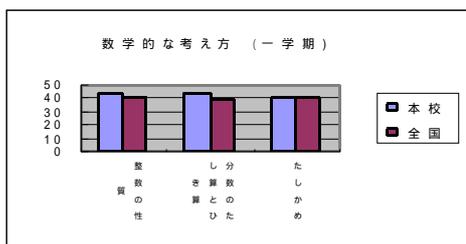


図4 観点別単元テスト結果(6年)

(2) 習熟度別指導でコース選択の工夫や個に応じた指導の工夫をしたことで、児童の学習意欲が増し、「数学的な考え方」の力がついてきた。

「自分の選んだコースで意欲的に学習している。」(図5)と肯定的に評価している児童は95%で、「とても」と積極的に肯定している児童は、16%増え、71%であった。

コース選択の際、レディネステストを行い、自分の学習したいコースを自己選択し、低学年は2コース、高学年は3コース(発展コース, 教科書コース, 基礎コース)に分かれたことで、自分に合ったコースで無理なく学習を進めることができ、学習に対する満足感ややる気も、学習に対して充実感を味わっていると考ええる。

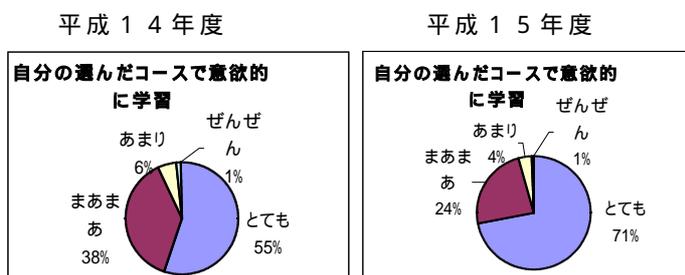


図5 アンケート結果

自分でコースを選択し，自分に合ったコースで学習を進めていることで，「学習は分かる」(図6)と評価している児童は97%であった。

「とても」と積極的に肯定している児童は7%増加し，66%になっている。

学習に対する意欲はかなり増加していると考える。

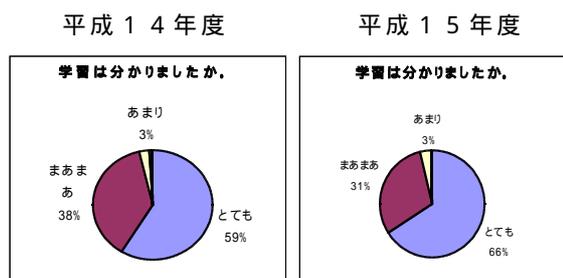


図6 アンケート結果(全児童対象)

一学期と二学期の単元テストの結果を観点別に分析し，学習の定着度を確認してみると，1年，4年や6年での伸びが顕著であった。

4年では，どの観点でも伸びが見られるが，「数学的な考え方」の観点での伸びが大きい。

習熟度別指導で，個に応じた支援ができることがこの結果につながっていると考える。

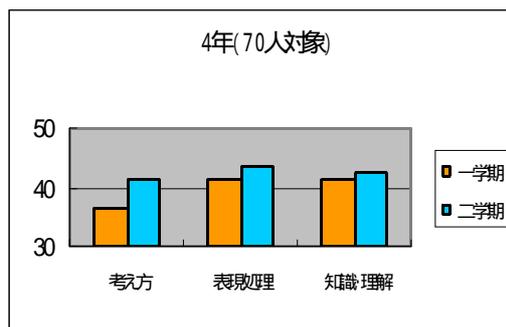


図7 観点別単元テスト結果(4年)

(3) トライの時間(教科等外)や単元末において補充的な学習を取り入れたことにより，「表現・処理」の力がついてきている。計算力については，3分間チャレンジが効果的であった。

補充・発展の学習を行うトライの時間については，95%の児童が「意欲的に学習した」と肯定的にとらえている。(図8)

トライの時間に課題別や習熟度別にし，自分の力にあった学習カードや発展的な学習に挑戦したりしたことで，児童の学習意欲が高まり，学習定着につながっていると考える。

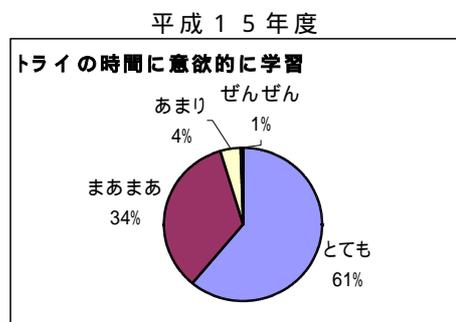


図8 アンケート結果(全児童対象)

単元末に補充的な学習を取り入れ，それぞれの単元の基礎・基本を押さえながら学習の復習をしていることで，学習内容の定着につながっている。

3分間チャレンジを算数の毎時間実施しており，計算のやり方がつかめ，繰り返しの計算練習ができることで，「計算力がついた」と肯定的な評価をしている児童が94%である。(図9)

計算力の定着をほとんどの児童が実感している。

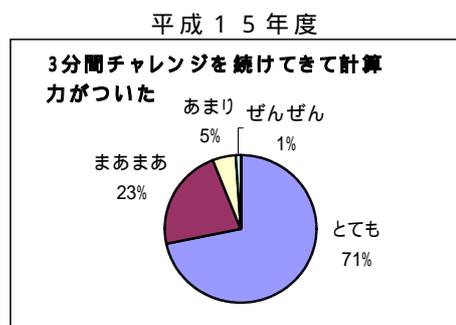


図9 アンケート結果(全児童対象)

3分間チャレンジに、短時間で取り組むことができ、その場で自分の計算力が分かり、次への目標がもちやすいということも計算力の定着の意識増につながっていると考え。

単元テストの結果、どの学年も「表現・処理」の力は着実に伸びてきている。(図10)

トライの時間の学習内容や3分間チャレンジの内容の工夫をしたり、毎時間目標を持って3分間チャレンジに取り組んだりしていることが、「表現・処理」の力のアップにつながっていると考える。

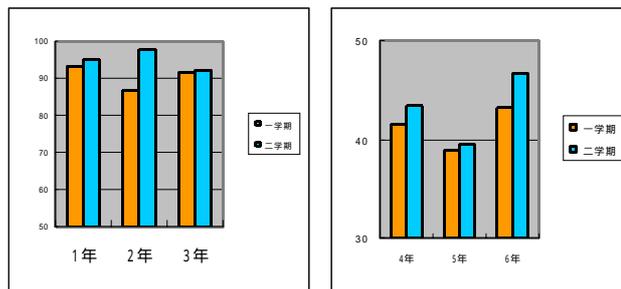


図10 単元テストの観点別結果「表現・処理」

6月に実施した5年の「基礎基本」定着状況調査の「表現・処理」の正答率が84%であったことも3分間チャレンジの成果であると考え。(図11)

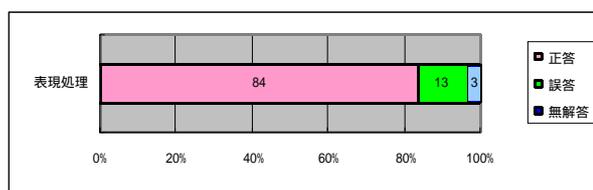


図11 「基礎基本」定着状況調査 5年 (平成15年6月実施)

2. 今後の課題

(1) 問題解決的な学習の充実

問題解決学習の型から脱却し、一人ひとりが自力解決できるような問題解決的な学習になるように、各段階の支援のあり方を工夫する。

「深める」段階のあり方の研究をし、お互いの考えのちがいに気づかせ、よりよい考えの発見をさせる話し合い活動を仕組む。

お互いのノート进行交流して、友だちのノートの使い方のよい点や参考になる点进行交流し、より自力解決型のノートづくりを進める。

(2) 習熟度別学習の工夫

より個に応じた単元学習指導案になるよう見直しを図り、その都度、改善する。

単元に応じた効果的な習熟度別指導のあり方やコースごとの支援のあり方を工夫する。

単元テストの内容を工夫し、観点別の達成状況がより把握できるように、自作テストの見直しを図る。また、児童のつまづきを分析し、課題をつかみ指導に生かす。

補助簿の中の評価規準等を見直しを図り、的確な見取りを行い、指導に生きるようにする。

(3) トライの時間、単元テスト、計算チャレンジの内容の工夫

3分間チャレンジの内容を個に応じたものにし、より充実させる。

- ・学習単元に応じた内容の工夫
- ・4領域を取り入れた内容の工夫

満足感や次への意欲をもたせるためにコースに応じたチャレンジにする。個に応じた補充的な学習、発展的な学習の内容を充実させる。

学力等把握のための学校としての取り組み

- ・算数アンケート調査（学年始め，学期末，単元末）... 児童の算数に対する情意面の調査
- ・テスト（単元末）... 単元の学力の習熟を確認する。
市販テストと自作テストの実施
- ・「基礎基本」定着状況調査5年（6月）... 基礎基本の定着の確認
- ・学力実態調査（1月末）... 1年間の算数の学力を確認

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・学校参観受け入れ... 本校の取組み，授業公開
平成15年6月24日（火）美土里小学校（3名）
7月7日（月）加茂中学校（3名）
9月5日（水）広島県教育委員会（1名他）
9月30日（水）文部科学省（1名他）
11月26日（水）大阪府門真市教頭会（24名）
平成16年2月13日（金）青崎小学校（1名）
- ・福山地区研究協議会にて本校の取組みの実践発表
日時 平成15年8月18日（月）
場所 広島県福山地域事務所
対象 福山教育事務所管内の教職員及び教育委員会職員
- ・福山市算数講座にて本校の取組みの実践発表
日時 平成15年8月20日（水）
場所 福山市研修センター
対象 福山市内の教職員
- ・南小学校教育研究会の実施... 授業公開，分科会，全体会
日時 平成15年10月21日（火）
場所 福山市立南小学校
対象 福山市内外の教職員
- ・福山地区研究報告会にて本校の取組みの実践発表
日時 平成16年2月5日（木）
場所 福山市東部市民センター
対象 福山教育事務所管内の教職員及び教育委員会職員
- ・学校通信及び算数通信等での保護者への情報発信
- ・本校ホームページでの研究内容の公開
<http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-minami/>

次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|------------|------------|------|----|
| 【新規校・継続校】 | 15年度からの新規校 | 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | 6学級以下 | 7～12学級 | | |
| | 13～18学級 | 19～24学級 | | |
| | 25学級以上 | | | |
| 【指導体制】 | 少人数指導 | T・Tによる指導 | | |
| | 一部教科担任制 | その他 | | |
| 【研究教科】 | 国語 | 社会 | 算数 | 理科 |
| | 生活 | 音楽 | 図画工作 | 家庭 |
| | 体育 | その他 | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | 有 | 無 | |